



森林ふれあい情報

平成17年12月

第2号

中部森林管理局木曽森林環境保全ふれあいセンター
〒399-6101 長野県木曽郡木曽町日義4905-2
TEL : 0264(23)1080 FAX : 0264(23)1081
E-mail : kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

中央アルプス木曽駒ヶ岳周辺における自然再生活動



中央アルプス木曽駒ヶ岳周辺では、入り込み増加に起因する踏み荒らし等により高山植物の荒廃が進行しており、このまま放置すれば貴重な植物群落が失われてしまう危険性が指摘されています。当センターでは、平成16年度から地域のNPO、有識者、地方自治体、観光業者ら幅広い分野の方々と連携して植生復元への取り組みを進めています。

○植生復元作業の実施

昨年度の調査結果や関係者の意見等を踏まえ、9月30日、植生復元作業を実施しました。作業には、信州大学農学部森林科学科の有志のほか、NPO日本高山植物保護協会、中央アルプスガイド組合、長野県、宮田村、駒ヶ根市などから26名が参加し、その模様は当日夕刻の地方ニュースでも取り上げられました。

参加者は、駒ヶ岳ロープウェイの終点千畳敷駅から背負子を使って植物繊維マットやマットを固定するための釘やハンマーなどを200m上の宝剣山荘（左下）付近まで運び上げ、その後、裸地化の特に著しい登山道周辺約200平米にマットを敷設しました。

このマットは、雨水や風による土壌の流出などを抑

え、高山植物の発芽や生育を助ける目的で敷設されるもので、下界からの植物が混入しないようあらかじめ熱処理を施したものを使用しています。

作業にあたっては、出来る限り地面と密着するよう浮き石を取り除いたうえでマットを敷き、釘や取り除いた石により一枚一枚丁寧に固定するよう心がけました。最初は大部分の参加者が不慣れなこともあり、何度もマットを張り直しましたが、慣れてくるにつれ次第に作業効率も上がり、2時間ほどで全ての作業が完了しました。

○今後の予定

当センターでは、進捗状況の報告や今後の作業方法等に関する検討会を平成18年2月頃に開催することとしています。さらに検討会における意見等を参考にしつつ、来年度以降も植生復元へ向けた取り組みを実施していきます。活動内容については、今後も森林ふれあい情報やホームページ等で詳しく紹介していきたいと考えています。（担当：中熊）

